

平成26年度 指定管理者評価結果

所管課	健康福祉部 障害福祉課
-----	-------------

1 施設の概要等

施設名	岐阜県立陽光園
施設所在地	美濃市立花1155-5
指定管理者 (共同体構成員)	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
主な施設	入所室、事務室、会議室、食堂・厨房、浴室、機能回復訓練室等

2 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の意見	対応状況
・訪問療育事業の利用がないのは、広報・PR不足なのではと思われる。	・ホームページなどに掲載するようにした。
・身体拘束に関する個別支援計画は家族に確認していることのみが重要なことではなく、身体拘束をしている弊害と3原則に立ち返ることを明らかにする必要がある。	・身体拘束についての振り返りを個人に合わせ、行うようにした。平成27年度には、身体拘束・虐待防止委員会を設置した。今後も施設全体で取り組んでいく。
・地域移行希望者の地域移行が実現に至っていない。施設として、より強力なバックアップが必要なのではと考える。	・地域移行を希望している利用者については、個別支援計画に落とし込みながら情報提供などを継続支援するとともに希望の再確認を行うようにした。
・看護師、生活支援員の人数は、常勤換算に対しては大所帯である。どの職員も標準的な支援ができるよう、個別支援計画の確実な実践をすることで、利用者の満足度を高める仕組みづくりを期待する。	・ケア会議には医務、物理療法士、栄養士など各部署からも出席するようにした。また各部署に個別支援計画を置き、朝礼で読みあわせ、各部署で再確認を行うようにした。
・消毒用アルコール誤飲事故が起きたが、保管場所・管理には十分気をつけていただきたい。	・各部署責任者を決め、毎月、危険物等の確認を行うようにした。
・経営状況は、概ね適正である。拠点区分間繰入金の支出が減になっている。	・適正な経営を心がけるとともに、収入増になるよう引き続き全職員で取り組む。
・経営効率化に向けた取り組みとその成果については、記載が見当たらない。次年度から記載願いたい。	・経営効率化に向け、利用率のアップ、入院等の減となるよう全職員で取り組む。
・施設の維持管理・補修に関して19項目計画があったが、未実施が相当数みられる。今後、実施される見通しがあるのかを明らかにし、	・県と協議する部分についても、施設の現状を理解して頂けるよう働きかける。また、緊急性の高いものを優先的に修繕していく。

優先順位を決定していくことが必要。	
・ボランティアと共同で、事業の推進を図っている。また、介護実習生も積極的に受け入れている。利用者の生活の質が向上される例えば外出支援に取り組んでもよい時期ではないか。	・ボランティアによる外出支援はボランティア会議などでも継続して打診してあるが、陽光園での支援であれば職員もそばにいて安心できるが陽光園を出ての支援は不安が大きいとの意見は相変わらずある。外出に関しては陽光園のOB職員などに頼りながら他のボランティアの方へもお願いできる環境づくりを行うようにした。

3 平成26年度評価結果

評価員会議 の評価・意見	【 評価結果 】			
	項目		平均点	評価
	1	管理基準の充足状況	3.00	良
	2	設置目的の達成状況	3.20	優
	3	公共性の確保の状況	3.20	優
	4	経営状況	3.20	優
	5	その他派生的効果等	3.20	優
	総合評価		3.16	優
	(評価方法：5名の評価員による1～4点の4段階評価)			
	(努力が不足している ← 1 2 3 4 → よく努力している)			
【 評価についての意見 】				
<u>○管理基準の充足状況</u>				
<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動、リハビリや栄養マネジメントを通して、個別性を重視した活動・支援を行うとともに、各プログラムへの利用者自治会の意見反映など当事者参加を実践している点が評価できる。 ・あるべきサービス提供に向けて多角的な研修や会議を通して、業務の見直しに取り組んでいる点が評価できる。 ・利用率の低い事業やサービスは、更なる広報の実施が必要なため、広報の工夫を図られたい。 ・高齢化、重度化する利用者の状態や生きがいに繋がる処遇業務への見直しを引き続き検討されたい。 				
<u>○設置目的の達成状況</u>				
<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所の利用率が高い。また、中濃地域の身体障がい者支援拠点施設として、相談事業だけでなく居宅介護・短期入所等のサービス事業が実施され、地域のニーズに応じた対応を行っている点が評価できる。 ・利用率の維持及び向上に向けて、更なる原因分析と評価を実施されたい。 				

	<p><u>○公共性の確保の状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通の困難な方に対する個別対応をした点が評価できる。 ・居室の洋室化やトイレの改修など利用者が生活し易いように、環境整備が図られている点が評価できる。 ・危機管理対策として、避難・防災訓練を計画的に実施している点が評価できる。 ・夜間など職員が手薄になる時間帯の危機管理対策について更に検討されたい。 <p><u>○経営状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物や備品の老朽化は避けられないが、節約できるところは節約されており、経営状況は概ね適正である。 <p><u>○その他派生的効果等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの協力を得ながらクラブ活動を実施している点や、「施設から地域へ」、「地域から施設へ」ともに盛んであり、ボランティアの来園も含めて地域環境が施設にとって良好な関係となっている点が評価できる。 ・ボランティアの活用は、茶道や編み物だけでなく、ホームページ、行事時の宣伝及びOBの活用などにより更なるプログラムの充実を図られたい。
<p>県の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。